

在日本イスラエル大使館
キラッド・コーヘン駐日大使 様

戦闘を即時、永久に停止する事を求める要請

貴国に対し、イスラエル国内の被害者に深い悲しみと哀悼の意を表します。

しかし、この度の武力による凄惨な惨状は、貴国が、強い憤りを持ってパレスチナを制圧する行動とはいえ、国際的にも、人道的にも非難されるものです。即刻、パレスチナに対する武力攻撃を中止し、同じ人間として傷ついた非戦闘員を全力で救助する行動に切り替える事を求めると共に、次の様に要請します。

要 請

- 1) 国連安保理決議に沿い、永久的に戦闘行為を中止をし、人道回廊回復にむけ行動してください。
- 2) 破壊された病院や、学校、避難所をはじめとする「命」をつなぎとめる施設を貴国の責任において、貴国の主導で即刻、完全復旧してください。
- 3) 今後、国内で壁を作らず、お互いが尊重し、公平、公正かつお互いの人権が守られるようインフラの整備や、ライフラインの整備を即時整えてください。

以上、要請します。

国家というのは、国民がその地で生活の基盤を築き、お互いの生き方を尊重し合いながら生きていくからこそ成り立つのです。他文化が複数存在する国は、世界には多数存在しています。グローバリゼーションの名のもと、貴国の先達がうけてきた凄惨な歴史を、また他人に押し付けることは止めてください。

犠牲者の多くは、子ども、女性、高齢者です。それを支援するために様々な国から支援団体が危険な現状でも支援してきました。そういった人の命を、尊厳を奪う権利など、パレスチナにもありませんし、貴国にも当然ありません。

憎しみの連鎖、力による抑圧では、問題の解決にはなりません。これ以上命を奪わないでください。

2023年11月27日
広島県退職教職員協議会
会長 石村 政利

内閣総理大臣
岸田 文雄 様

戦闘を即時、永久に停止する事を働きかける様に行動を求める要請

イスラエル軍による一時的な停戦は実現しました。しかし、まだ地域によってはイスラエル軍による掃討作戦は行われていることも伝えられています。

イスラエル軍は「正義」を掲げ、ハマスの司令部があるからと躊躇なく病院施設への攻撃を行い、学校や、避難所とされている場所へも攻撃を行いました。「やられたら、やり返す」というような原理で、一向に戦闘状況の収束が見えません。そればかりか、死者は増え続け、その多くはなんの罪のない「子ども」「女性」「高齢者」です。生活基盤を失うだけではなく、病院などといった「生き伸びるための公的機関」が停止し、まさに「死ぬ」のを待つ状況になっていると言わざるを得ません。

今こそ、先の大戦から恒久平和を掲げた日本がリーダーシップを発揮し次のように早急にとりくまれることを要請します。

要 請

- 1) 国連に働きかけ、即時停戦と平和のためのロードマップを、日本がイニシアチブを発揮し、とりくむようにしてください。
- 2) ヒロシマから世界へ命を奪う全ての行為を辞めさせるメッセージを発信してください。
- 3) 今後、武力紛争などが発生した場合の対応として、安全保障理事会では「悲劇」ととめる事が出来ないため、「新たな枠組み」の提案を、日本主導で行ってください。

以上。要請いたします。

憎しみの連鎖、力による抑圧では、問題の解決にはなりません。これ以上命を奪う行為に加担しないでください。

ヒロシマの地から世界へ、「平和」を訴える事の出来るのはヒロシマの惨禍を知る総理大臣だけなのです。

2023年11月27日
広島県退職教職員協議会
会長 石村 政利